



きんでん<1944>、三菱電機<6503>傘下の弘電社<1948>を子会社化



関西電力系で電設工事・土木工事を展開するきんでんは、電設工事や電気機器の販売を手がける弘電社をTOB（株式公開買い付け）などにより子会社化する。送配電網の更新・増強需要の拡大が見込まれる一方で人手不足などの課題があり、弘電社を子会社化することで、事業基盤の強化や事業領域の拡大、三菱グループとの取引拡大や購買力強化などの相乗効果を見込む。

弘電社の親会社で株式51.36%を所有する三菱電機はTOBに応募せず、TOB成立後に弘電社が実施する自己株式取得に応じる予定。三菱電機は親子上場を解消し、重点成長分野への集中投資や経営体質の強靱化を進める。

買付価格は1株につき1万1501円。TOB公表前営業日の終値7510円に53.14%のプレミアムを加えた。買付予定数は424万7980株で、下限は所有割合15.31%にあたる133万6800株。TOBによる買付代金は約488億円。

買付期間は2026年5月26日～7月6日（30営業日）。決済の開始日は7月13日。公開買付代理人はSBI証券。

三菱電機からの自己株式取得を含めた取引総額は約850億円。

弘電社はTOBに賛同し、株主に応募を推奨している。TOB成立後、同社は東証スタンダード市場への上場が廃止となる。

弘電社は1917年に設立し、1951年に三菱電機の子会社化となった。1962年に東証2部に上場（2022年4月に東証スタンダード市場に移行）。